

第1回太子町地域公共交通会議 会議概要

日時：平成30年4月12日（木） 14時00分～16時00分

場所：太子町役場1階 万葉ホール

議題

- (1) 会長・副会長の選出について
- (2) 地域公共交通会議の設置について
- (3) 傍聴要綱（案）について
- (4) これまでの経過及び今後のスケジュールについて
- (5) その他

(1) 会長・副会長の選出について

会長は小川委員、副会長は松村委員が選任された

(2) 地域公共交通会議の設置について

(3) 傍聴要綱（案）について

（資料2・3に基づき、事務局より説明）

委員

傍聴について、会議日程は早く知らせて頂きたい。あと、傍聴定員は何名を考えているのか。

事務局

会議日程の周知については、町HP及び防災無線で行う予定としている。防災無線は開催日の直近で広報効果が上がるように考えながら行いたい。傍聴定員については、会場を万葉ホールで開催する場合は入る限り対応したいため、定員はあつてないようなものとなるが、万葉ホールが会場として抑えられない場合は、観光交流センターの研修室となることがあるので、その場合は5名や10名となることが考えられるため、その点はご了承いただければと思う。

委員

傍聴要綱の係員とはだれを指すのか。また、委員には議員が入っていないが議会との関係はどのようになっているのか。

事務局 係員は事務局から出させていただくことになると思う。
町議会議員の方々が入っていないことについては、他の市町村においても予算を審議される立場にあることから議会からは入っていないという経緯があり、入っておられない市町村が多いこと、そして、町議会議員の皆様にも説明させていただいており、その上で今回は委員としては入っていない。
また、議会には前年の検討委員会においても必要に応じて説明させていただく機会を設けており、交通会議においても、同じように必要に応じて説明させていただく予定としている。

会 長 では、議題3の傍聴要綱（案）について、承認ということでしょうか。

委 員 （異議なし）

会 長 それでは、議題3については承認されました。

(4) これまでの経過及び今後のスケジュールについて
(資料4～6に基づき、事務局より説明)

委 員 資料5-3で、持続可能など何なのかということだが、利便性・費用負担の軽減を追い求めると交通事業者・行政の負担が大きくなるそのため、民間でできるところは民間でやってもらう。民間でできないところを行政が行うという形で、面的にかぶらないよう、有機的に組み合わせて効率的に行うということが持続可能ということ。
基本計画中の商業施設に向かう分については面的に少々かぶっているため気になるが、うまくやっていただきたい。

委 員 国は平成26年に活性化再生法ができて、その中のモビリティマネジメントだが、広陵町は平成32年をめどに考えており、鳩山町は平成33年をめどに作られているが、国は何年をめどに考えているのか。

委 員 現実的にできることを進めていくために近い将来のことを書いていただき進めていただくことを想定しているので、約5年後をめどに作っていただくことになる。

会 長 地域公共交通網形成計画は作った限りは続けていかななくてはならないと思っ

ているので、うまくいかないからやめておこうとならないように進めていきたい。基本計画の中では面をかぶっている部分はあるが、競合させる意図はないと思うので、その辺は事務局には金剛自動車とうまく調整をしていただきたいと思う。

委員

アンケート調査だが、昨年度は9月の1月間でやって結果をだしているが、今回のスケジュールは4か月間となっているがどういう意図か。
2000件送付するならあと2000件追加すれば、ほぼ全世帯に行くことになるので、増やしてほしい。
ワークショップについて、4回に分けてやるというのはどのように行うのか。基本計画の説明会については5月下旬から～6月に行うというのはどのようにするのか。
大字単位くらいで集会所等でやってほしい。
パブリックコメントについては、もっと意見を吸い上げられるようにしてほしいと思う。

事務局

アンケート期間の4か月というのは準備・送付・回答受付・集計という期間を全てさせており、送付は8～9月くらいになると思う。
ワークショップについては、内容詳細については今後詰めていく予定としており、具体的には決まっていない。基本計画において公共交通空白・不便地域の方々に積極的に参加していただけるようなワークショップにしていきたい。
ただ、もしこのようなワークショップにして欲しいというご意見があれば、積極的にご意見を頂ければありがたい。
基本計画の説明会については万葉ホールに住民の方々をあつめて、基本計画の説明とそのほかにもイベントを企画して行いたいと考えている。
パブリックコメントについては現状させていただいている方法しかできないが、議論していただく場としてはワークショップ等もあるので、是非参加していただきたいと考えている。
アンケートの数については、予算措置している内容としては地域を絞ったアンケート、1000件×2地域分ということで2000件分とっているが、どのような形にするかは今後案を出していきたい。
送付数については、14000人程度の母数であれば373通の回答があれば統計上、根拠がある数値となり、その辺を勘案して予算措置しているため、2000件で進めていきたい。

会 長	<p>昨年度のアンケートでは大まかな内容でアンケートしたが、今回は細かい分析ができる内容でのアンケートが必要と考えている。たとえば、中央線の緑の線について、通勤・通学の時間帯に上ノ太子駅に向いてグロスで何人駅に向かっているのかというのがわからないと、バスを走らせるにしても、どの大きさのバスをどの時間帯に走らせる必要があるのか等が見えてこないので、分析できる、実態を拾うことができるようなアンケートをお願いしたい。</p> <p>ワークショップをどうするのかだが、この 4 回分と会議の 2～5 回目と近いので、ワークショップの意見が会議で聞けるような形をお願いしたい。</p> <p>講演会については、地域の代表で出てきている皆さんに話してもらえようような説明会にしたいと思う。</p>
委 員	<p>去年は、31年3月までに実施計画をつくっていただきたいと申し上げていたがどうなっているのか。実施計画がないので4月以降になるのか31年4月以降に実証運行ができるように進めてもらいたい。</p> <p>この計画についてはいい計画だが、中央線の採算が取れるのかということについて自信がない。もし、採算が取れるならどの程度の人が利用できるのか等、データをとる必要があると思う。そうするために、大まかにでも、停留所の場所や時間を示したうえで、利用できるかどうかのアンケートを取る必要があると思う。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃる通り、事務局としてもスピード感をもって進めていきたいとは考えているが、どうしても時間をとらなければならない部分もあり、この1年というスケジュールとしている。実証運行の準備については、今のスケジュールが円滑に進めば12月から取り組めるということで考えている。</p>
委 員	<p>このスケジュールで本当に自信を持っていい網形成計画ができるとは考えにくい。実証運行も事業者との調整もあるかと思うが、3回くらい様々な方法でやっていかないと難しいと思う。持続可能なものを作るためには利用者のニーズをしっかりとつかむことと、自家用車から公共交通に移ってもらうための取組みが必要になると思うが、そのあたりをどうしていくのが難しいと考えている。</p>
事務局	<p>実証運行自体は1回で終わりではなくて、色々なことを試したいと思っている。</p> <p>住民に乗っていただけるような施策についても地域公共交通網形成計画の中</p>

に入れて、実施していけるようにしたいと考えている。

委員 これは無料で行うものなのか、有料で行うものなのか教えていただきたい。

委員 他の自治体の事例を見ていると行政が無料でやっているところはあるが、財政が圧迫されて、なくなってしまうということがある。移動に対する対価はいるものだと考えていかなければならない。住民と行政と一緒に考えていくことは重要であり、必要だと思う。

委員 アンケートには有料であるという文言も入れていくこととなるのか

事務局 有料という文言を入れるかどうかはその項目を入れるかどうかにもよりますが、必要であれば入れることになる

会長 受益者負担は外せないと思うし、無料となれば、廃止になる基準も厳しくなるだろう。そのバランスはとっていかねばならないと思う。

委員 河南町ではバスが走っているが、100円で走っている。400円、500円で車を駅前に止めることを考えると、安くて済むので、太子町でも早く100円払ってもいいから走ってほしいと思う。

会長 もともと200円だったのを、100円に下げた経緯はあるが、利用者の数は変わらなかったのも、運賃の考え方はなかなか難しいとは思う。

委員 次の会議スケジュールは8月になっている。これは空きすぎだと思う。もっと前倒しにできないか。

事務局 地域公共交通会議を開かせていただくにあたり、補助金を申請している。交付決定が5月以降に出るとのことなので、事業者委託が決定するのが5月末から6月あたりになり、かなり詰める作業で動けるのが6月以降になる。路線バスの実態調査についてはOD調査ということで、路線バスでどこから乗ってどこで降りるのかを淡々と調査するものであるもので、進めていきたい。アンケート項目については、計画策定支援業者が決定次第アンケート項目案を作成し、委員の皆様にはご意見を伺わせていただく機会は設けたい。

- 会 長 個人的には遅いかなとは思いますが、アンケートを取るにしろ、ワークショップをするにしろ、住民がどう考えるかということとは別に、今後、検討する交通体系で有償となると緑ナンバーになり、そうするとたちまち金剛バスや運輸局、警察との調整が必要になるのであるので、そもそも基本計画でたとえば基幹交通の部分に走らせることが可能なかどうかとかできる部分は詰めておいていただきたい。
- 委 員 では、その空白となる時期に、地域別に基本計画を周知していくというのはどうか。
- 事務局 万葉ホールではまず説明会はやりたいと考えている。地区別にとというのは1度もちかえらせて頂きたい。
- 会 長 あまり行政が何月何日という風に決めて行うと聞きにいかねばならないとなるので、それより、地区が何月何日に人を集めるから来てほしいという方が、いいのではないか。
- 委 員 それでもいいと思う
- 委 員 町民が関心を持っているのは、どこにバス停が来るのか、どこを走るのかということだと思うので、そのあたりが早く決まれば、住民も関心を持って意見を出したりして聞けると思う。
- 会 長 実証運行でバス停を動かすこと自体は、警察が何も言わなければできることなので、住民からそのような話があがればできるとは考えている。そのため、その辺は住民の役割になってくる。河南町では4か月を1クールとして見直しているのですが、このバス停の位置がおかしいということになれば、5か月目以降は変えて実証運行をしているので、説明会で意見をいただければ、実証運行で反映できる。
説明会で残念な会議なのは、意見が出ない会議と要望だけが出て、乗るぞという意欲が感じられない会議なので、そうでなければどんどん説明会はやりたいと思う。
- 委 員 今、実行されている乗合ワゴンだが、前の日の4時までには予約しておかなければならないとか、付添いは乗れないとか制約があるのは見直してほしい。

夜は遅くなったら、喜志からタクシーを利用するがその時に、最近は自家用車での移動が多くなったので、実際に稼働している台数が少なくなっていることを金剛タクシーの運転手の方が教えてくれた。

アンケートを 1000 件×2 地域でとるということだったが、駅に近い方でも病院に通うのに家族の送迎などもできない方がいたりするので、地域に限らず全域でとってほしいと思う。

事務局 人それぞれの事情があると思うが、頂いたご意見を参考にしながら、アンケートの送付地域の選定や項目のたたき台を作っていきたいと思う。

委員 予約型乗合ワゴンについては、急に行けるようになったとか行けないようになったとかいう電話はあるので、改良しなければいけないと思うことはあるが、全体的にみると、利用者の方は有効に使っていただいていると思う。今後は予約型乗合ワゴンや福祉センターバスのあり方も考えながら、新規の定時定路線交通の確保もうまく考えていければと思う。

会長 公共交通は大衆が利用できる交通（大衆交通）となるが、個別で利用できる交通でないとカバーできない領域と大衆交通でもカバーできる部分がある。大衆交通ですべての人を幸せにすることはできないため、場合によっては個別交通でカバーする事を考えていく必要はあると思うし、それを行政がすべきなのか、個人の移動問題とするのかということになってくると思う。そのため、その点を含めて委員の皆様にも考えて欲しいと思う。

(5) その他

事務局 事務局からは特になし。

会長 委員の皆様、特に団体の代表で来られている委員の方には、基本計画ができたことや、私も広報に毎月コラムを載せているので、読んでいただけるように周りの人にアピールをしてもらいたい。

会長 時間となったので、以上で地域公共交通会議を終了する。